



平成24年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月26日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 サイバーエージェント

コード番号 4751 URL <http://www.cyberagent.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO

(氏名) 藤田 晋

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 中山 豪

TEL 03-5459-0202

四半期報告書提出予定日 平成24年7月27日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第3四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第3四半期	101,902	15.0	14,557	34.3	14,407	35.7	6,912	24.0
23年9月期第3四半期	88,620	26.1	10,838	54.0	10,620	51.0	5,574	14.4

(注) 包括利益 24年9月期第3四半期 7,398百万円 (24.5%) 23年9月期第3四半期 5,942百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第3四半期	10,675.45	10,669.56
23年9月期第3四半期	8,595.55	8,588.06

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年9月期第3四半期	127,675	41,989	31.5
23年9月期	111,689	38,677	33.0

(参考) 自己資本 24年9月期第3四半期 40,158百万円 23年9月期 36,851百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	3,500.00	3,500.00
24年9月期	—	0.00	—	—	—
24年9月期(予想)	—	—	—	3,500.00	3,500.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	130,000	8.7	17,000	18.5	16,700	18.3	8,500	16.1	13,126.29

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年9月期3Q	652,497 株	23年9月期	652,251 株
----------	-----------	--------	-----------

② 期末自己株式数

24年9月期3Q	5,125 株	23年9月期	— 株
----------	---------	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年9月期3Q	647,555 株	23年9月期3Q	648,491 株
----------	-----------	----------	-----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社グループで判断したものであり、リスクや不確定な要素等の要因が含まれており、実際の成果や業績等は記載の見通しとは異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（注記情報）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	10
(5) セグメント情報等	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
(7) 重要な後発事象	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

平成23年度の国内のインターネットビジネス市場は約14兆円まで拡大しており、平成24年度には約15兆円、平成28年度には約22兆円に達するものと見込まれております(注1)。特にソーシャルゲーム市場の急成長が続いており、平成23年度は前年度比1.8倍の2,570億円、平成24年度には3,429億円に拡大する見通しとなっております(注2)。また、平成23年度のスマートフォン出荷台数は前年度比2.8倍の2,417万台(総出荷台数の56.6%)となり、スマートフォンへの移行が加速しております(注3)。

このような環境のもと、当社グループは、Amebaを中心としたスマートフォンメディアのサービス強化やソーシャルゲームのラインナップ拡充に努めるとともに、ネットビジネス総合事業(旧インターネット広告代理事業)の変革にも取り組んでまいりました。

この結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間における売上高は101,902百万円(前年同期間88,620百万円、15.0%増加)、営業利益は14,557百万円(前年同期間10,838百万円、34.3%増加)、経常利益は14,407百万円(前年同期間10,620百万円、35.7%増加)、四半期純利益は6,912百万円(前年同期間5,574百万円、24.0%増加)となりました。

出所 (注1) (株)野村総合研究所 (注2) (株)矢野経済研究所 (注3) (株)MM総研

セグメント別の業績は次のとおりであります。

①Ameba関連事業

Ameba関連事業には、Ameba、アマーバピグ、AMoAd等が属しております。

Amebaの平成24年6月のPV数は339億PV(前年同月252億PV、87億PV増加)となり、会員数は2,359万人(前年同月1,645万人、714万人増加)となりました。

当事業におきましては、アマーバピグ等の課金及び広告収入が拡大したため、売上高は18,841百万円(前年同期間11,924百万円、58.0%増加)、営業損益は4,931百万円の利益計上(前年同期間3,767百万円の利益計上、30.9%増加)となりました。

②メディア関連事業

メディア関連事業には、(株)Cygamesや(株)グレンジ、(株)アプリボット、(株)CyberX、(株)サムザップ等のグループ各社におけるソーシャルゲーム事業、(株)シーエー・モバイル等が属しております。

当事業におきましては、ソーシャルゲーム事業の拡大等により、売上高は32,962百万円(前年同期間25,849百万円、27.5%増加)、営業損益は4,356百万円の利益計上(前年同期間1,888百万円の利益計上、130.7%増加)となりました。

③ネットビジネス総合事業

当期より組織体制を広告代理事業を行うエージェンシーユニットとスマートフォン向け新規事業を立ち上げるネットビジネスユニットに変更いたしました。

当事業におきましては、人員の異動や技術者の採用を強化する等、新規事業立ち上げに注力し、売上高は50,919百万円(前年同期間50,727百万円、0.4%増加)、営業損益は2,428百万円の利益計上(前年同期間3,083百万円の利益計上、21.2%減少)となりました。

④FX事業

FX事業には、(株)サイバーエージェントFXにおける外国為替証拠金取引が属しております。

口座開設数や預り資産が堅調に増加した結果、売上高は5,870百万円（前年同期間5,493百万円、6.9%増加）、営業損益は2,956百万円の利益計上（前年同期間2,176百万円の利益計上、35.8%増加）となりました。

⑤投資育成事業

投資育成事業には当社のコーポレートベンチャーキャピタル事業、(株)サイバーエージェント・ベンチャーズにおけるファンド運営等が属しており、キャピタルゲインを目的とした国内及びアジア圏の有望なベンチャー企業の発掘・育成・価値創造等を行っております。

当事業におきましては、保有株式の売却等により、売上高は302百万円（前年同期間203百万円、48.3%増加）、営業損益は115百万円の損失計上（前年同期間77百万円の損失計上）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(財政状態)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は127,675百万円（前連結会計年度比15,985百万円の増加）となりました。これは、主にFX事業における預り資産残高の順調な増加に伴い外国為替取引顧客預託金が増加したこと、及び堅調な営業活動の成果として現金及び預金、売掛金が増加したことによるものであります。

負債は85,685百万円（前連結会計年度比12,674百万円の増加）となりました。これは、主にFX事業において外国為替取引顧客預り証拠金が増加したことによるものであります。

純資産は41,989百万円（前連結会計年度比3,311百万円の増加）となりました。これは、主に四半期純利益の計上等に伴い利益剰余金が増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）は、前連結会計年度末と比べて422百万円増加し、18,531百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは9,566百万円の増加（前年同期間5,184百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは7,990百万円の減少（前年同期間5,755百万円の減少）となりました。これは、主に固定資産の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは1,183百万円の減少（前年同期間1,870百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払及び自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年10月27日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報（注記情報）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

・会計方針の変更

第1四半期連結会計期間より「1株当たり当期純利益に関する会計基準（企業会計基準第2号 平成22年6月30日）、「1株当たり当期純利益に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第4号 平成22年6月30日）及び「1株当たり当期純利益に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第9号 平成22年6月30日）を適用しております。

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定にあたり、一定期間の勤務後に権利が確定するストック・オプションについて、権利の行使により払い込まれると仮定した場合の入金額に、ストック・オプションの公正な評価額のうち、将来企業が提供されるサービスに係る分を含める方法に変更しております。

これらの会計基準等を適用しなかった場合の前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の金額は8,586円56銭であります。

(4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,755	21,600
受取手形及び売掛金	14,917	17,592
たな卸資産	184	95
営業投資有価証券	3,069	3,603
外国為替取引顧客預託金	34,023	49,216
外国為替取引顧客差金	14,170	10,199
その他	10,346	6,899
貸倒引当金	△53	△39
流動資産合計	97,414	109,168
固定資産		
有形固定資産	2,204	3,596
無形固定資産		
のれん	3,102	3,106
その他	3,452	6,156
無形固定資産合計	6,555	9,262
投資その他の資産		
その他	5,591	5,711
貸倒引当金	△77	△64
投資その他の資産合計	5,514	5,647
固定資産合計	14,274	18,506
資産合計	111,689	127,675
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,594	9,659
短期借入金	220	220
外国為替取引顧客預り証拠金	47,896	60,064
未払法人税等	4,353	3,185
ポイント引当金	409	53
資産除去債務	6	—
その他	9,206	10,969
流動負債合計	70,686	84,152
固定負債		
社債	300	200
長期借入金	1,515	566
資産除去債務	364	616
その他	139	145
固定負債合計	2,319	1,528
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	5	4
特別法上の準備金合計	5	4
負債合計	73,011	85,685

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,177	7,203
資本剰余金	5,512	5,400
利益剰余金	24,268	28,769
自己株式	—	△1,388
株主資本合計	36,958	39,985
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	76	303
為替換算調整勘定	△183	△130
その他の包括利益累計額合計	△107	172
新株予約権	64	101
少数株主持分	1,761	1,729
純資産合計	38,677	41,989
負債純資産合計	111,689	127,675

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
売上高	88,620	101,902
売上原価	55,471	59,447
売上総利益	33,149	42,455
販売費及び一般管理費	22,310	27,897
営業利益	10,838	14,557
営業外収益		
受取利息	18	27
その他	57	66
営業外収益合計	76	94
営業外費用		
支払利息	34	23
持分法による投資損失	98	73
消費税等調整額	82	93
その他	78	53
営業外費用合計	294	243
経常利益	10,620	14,407
特別利益		
関係会社株式売却益	547	1,077
その他	283	41
特別利益合計	831	1,119
特別損失		
減損損失	598	850
その他	591	327
特別損失合計	1,189	1,177
税金等調整前四半期純利益	10,262	14,348
法人税、住民税及び事業税	4,126	6,356
法人税等調整額	388	867
法人税等合計	4,514	7,224
少数株主損益調整前四半期純利益	5,747	7,124
少数株主利益	173	211
四半期純利益	5,574	6,912

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	5,747	7,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	221	220
為替換算調整勘定	△19	34
持分法適用会社に対する持分相当額	△7	18
その他の包括利益合計	194	274
四半期包括利益	5,942	7,398
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,697	7,193
少数株主に係る四半期包括利益	244	205

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年10月1日 至平成23年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	10,262	14,348
減価償却費	1,665	2,257
のれん償却額	232	275
減損損失	598	850
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9	△8
持分法による投資損益(△は益)	98	73
関係会社株式売却損益(△は益)	△539	△1,077
売上債権の増減額(△は増加)	△559	△3,500
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	△676	△304
外国為替取引預け委託保証金の増減額(△は増加)	△1,650	1,699
外国為替取引未決済額の純増減額(△は増加)	△436	△1,429
仕入債務の増減額(△は減少)	387	1,390
未払金の増減額(△は減少)	527	1,468
未払消費税等の増減額(△は減少)	91	△209
その他	153	1,181
小計	10,145	17,016
利息及び配当金の受取額	22	24
利息の支払額	△33	△21
法人税等の支払額	△4,949	△7,454
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,184	9,566
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,755	△810
定期預金の払戻による収入	850	405
有形固定資産の取得による支出	△1,001	△2,102
無形固定資産の取得による支出	△2,089	△5,067
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	542	595
敷金及び保証金の差入による支出	△211	△698
敷金及び保証金の回収による収入	120	84
子会社の自己株式の取得による支出	△2,199	—
その他	△11	△397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,755	△7,990
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	3,300	—
長期借入金の返済による支出	△822	△970
社債の償還による支出	△100	△100
自己株式の取得による支出	—	△1,999
自己株式の処分による収入	—	462
配当金の支払額	△1,428	△2,278
少数株主からの払込みによる収入	178	687
自己株式取得目的の金銭の信託の設定による支出	△3,002	—
自己株式取得目的の金銭の信託の払戻による収入	—	3,002
その他	2	13
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,870	△1,183
現金及び現金同等物に係る換算差額	△23	30
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,464	422
現金及び現金同等物の期首残高	20,134	18,108
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,669	18,531

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自平成22年10月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	Ameba関連	メディア関連	ネットビジネス総合	FX	投資育成	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	8,491	24,644	49,787	5,493	203	88,620	—	88,620
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	3,433	1,205	939	—	0	5,578	△5,578	—
計	11,924	25,849	50,727	5,493	203	94,199	△5,578	88,620
セグメント利益又は損失(△)	3,767	1,888	3,083	2,176	△77	10,838	—	10,838

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	Ameba関連	メディア関連	ネットビジネス総合	FX	投資育成	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	14,514	32,172	49,055	5,870	289	101,902	—	101,902
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	4,327	789	1,863	—	13	6,994	△6,994	—
計	18,841	32,962	50,919	5,870	302	108,896	△6,994	101,902
セグメント利益又は損失(△)	4,931	4,356	2,428	2,956	△115	14,557	—	14,557

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当期より「インターネット広告代理事業」において、高収益なビジネスモデルへの変革を目的とし、スマートフォンを中心としたサービス開発等の新規事業創出のため組織変更を行い、経営資源の配分を見直しました。

この組織変更に伴い、「インターネット広告代理事業」を「ネットビジネス総合事業」に名称変更致しました。また、経営実態に合わせ業績管理区分の見直しを行いAmeba関連事業及びメディア関連事業の一部事業をネットビジネス総合事業へ再編いたしました。

なお、変更後の報告セグメントに基づいた前第3四半期連結累計期間の報告セグメントごとの営業収益及び利益の金額に関する情報は「I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年10月1日至平成23年6月30日）」に記載しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。